中学歴史プリント（書き取り）
弥生時代 No.11

名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

得点 ／19

1. 弥生時代に作られた銅剣や銅矛などの青銅器は、主に何という儀式の道具として発展した？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
2. 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
3. 弥生時代に大陸から伝わり、銅剣や銅矛などの作成に用いられた技術のことを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
4. 縄文土器と比べて薄く作られ、煮炊きに適していたのはどのような温度で焼かれたから？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
5. 弥生時代に大陸から金属器とともに伝わり、それまでの採集中心の生活から定住型の社会へ変化させる大きな要因となった技術を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
6. 佐賀県に位置し、環濠集落の中でも大規模で、高床倉庫や物見やぐらが復元されていることで知られる遺跡は何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
7. 弥生時代に祭礼の道具として用いられ、指導者の地位の高さを示す象徴となった釣鐘状の青銅器を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
8. 銅鐸が主な役割として使われた、豊作を祈るなどの行事を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
9. 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見された、福岡県にある場所はどこ？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
10. 3世紀頃、邪馬台国を治め、中国の魏に使者を送ったとされる女王は誰？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
11. 銅剣や銅矛が多く出土しており、銅鐸の主な出土地帯とは異なる特徴を持つ地域はどこ？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
12. 弥生時代に大陸から伝わり、実用品ではなく主に祭祀の道具として使われた青銅器のうち、釣鐘のような形をしたものを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
13. 古代中国の記録などを通じて、当時の日本（倭）の状況を知ることができる資料のうち、出来事や制度を記録した書物を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
14. 福岡県の志賀島で発見され、1世紀に中国の皇帝から日本の王に贈られたことを示す重要な遺物を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
15. 福岡県の志賀島で発見された金印を授けた、弥生時代の中国の王朝を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
16. 弥生時代において、祭礼や儀式を行うために用いられた道具のうち、銅鐸や銅鏡などを総称して何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
17. 弥生時代に大陸から伝わった金属器のうち、農具や武器として実用的に使われたものを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
18. 弥生時代に大陸から伝わり、武器としてではなく、祭祀や儀式の際に用いられた青銅製の釣り鐘型の道具を何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿
19. 弥生時代に導入された金属器のうち、硬度が高く、刃先などの実用的な道具として生産力の向上に貢献したものを何という？ ＿＿＿＿＿＿＿＿

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「弥生時代」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.11 弥生時代

言えた　／19

① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	青銅器である銅剣や銅矛は、鋭い刃を持ちながらも実用には適さない繊細なものも多く、主に**祭祀**の場で神聖な道具として使われました。	**祭祀**	□
2	魏の歴史をまとめた『魏志』のうち、東夷伝という章に倭人に関する記述があり、一般に『**魏志倭人伝**』と呼ばれます。	**魏志倭人伝**	□
3	**金属器**には主に銅製品（青銅器）と鉄製品がありました。	**金属器**	□
4	**高温**で焼くことで強度が上がり、煮炊きに適した薄い土器を大量に作ることができました。	**高温**	□
5	**稲作**が定着したことで、人々は安定した食料を得られるようになり、収穫の時期に合わせて同じ場所に住み続ける定住生活が始まりました。	**稲作**	□
6	**吉野ケ里遺跡**は、周囲に深い堀（環濠）を巡らせ、外敵の侵入を防ぐ構造を持つ大規模な集落跡です。	**吉野ケ里遺跡**	□
7	**銅鐸**は青銅製の釣鐘状の道具で、当初は小型でしたが、次第に大型化しました。	**銅鐸**	□
8	銅鐸は、このような**祭り**の場で、神聖な音を出したり、掲げられたりすることで、人々を統率し豊作を祈るために使われました。	**祭り**	□
9	後漢の光武帝から授けられたとされる「漢委奴国王」の金印は、江戸時代、福岡県の**志賀島**で農作業中に偶然発見されたと伝えられています。	**志賀島**	□
10	**卑弥呼**は「鬼道」と呼ばれる呪術を用いて人々を統治した女王です。	**卑弥呼**	□
11	青銅器の中でも、銅剣・銅矛は九州北部を中心とする西日本に、銅鐸は近畿地方を中心に多く出土し、文化圏がはっきり分かれていました。	**九州地方**	□
12	**銅鐸**は主に近畿地方を中心に多く出土しており、祭祀の道具として用いられました。	**銅鐸**	□
13	『後漢書』や『魏志倭人伝（三国志）』などが代表的な**歴史書**です。	**歴史書**	□
14	1784年、福岡県の志賀島で農夫によって発見されました。	**金印**	□
15	志賀島で発見された「漢委奴国王」と刻まれた金印は、1世紀頃、**後漢**の光武帝が日本の使者に授けたものと考えられています。	**後漢**	□
16	**青銅器**は主に銅鐸や銅鏡、銅剣などに鋳造され、それらが高い装飾性を持っていたことから、主に集落の祭礼や儀式、または権力者の威信を示すための道具として使われました。	**青銅器**	□
17	鉄は青銅よりも硬く丈夫であるため、刃先として農具（鋤・鍬）や武器（剣・矛・鏃）などに加工されました。	**鉄器**	□
18	**銅鐸**は、主に近畿地方を中心に分布しており、弥生時代の村の共同体で行われる祭りや儀式に使われたと考えられています。	**銅鐸**	□
19	**鉄器**は主に農具の刃先や、武器としての剣や矛などに加工されました。	**鉄器**	□

言えなかった用語ノート